

令和 6 年度 予算編成方針を承認

第 132 回理事会議事概要

令和 5 年 11 月 7 日（火）

ビルメンテナンス会館 4 階

第 1 審議事項

第 1 号議案 入会の承認について

その 1 正 会 員 ココプラント株式会社

その 2 正 会 員 株式会社ビオス

その 3 賛助会員 株アシオット株式会社

標記 3 社の入会について提案説明があり、それぞれ全会一致で承認された。

■提案説明

その 1、正会員、ココプラント株式会社は昭和 54 年に設立され、水処理施設の設計・施工、維持管理のほか、ビル・マンション等の設備点検、メンテナンス、改修などを行っている。従業員の教育研修のほか、会員になることにより事業にプラスの効果を発揮したいとして入会を希望している。推薦会社は東京シティサービス株式会社である。

その 2、正会員、株式会社ビオスは昭和 54 年に設立され、主に給排水設備のメンテナンスや改修を行ってきた。当協会には平成 21 年に入会したが、コロナ禍により令和 3 年 10 月にいったん退会。あらためての入会を希望している。

なお、定款施行規則第 4 条第 3 号では「再入会される場合は、理事会の承認により入会金を免除できる」とある。今回これを適用し、入会金の免除を提案する。推薦会社は株式会社アーバンテクノである。

その 3、賛助会員、アシオット株式会社は令和 2 年に設立された IT ベンチャー企業である。カメラの機能を使った電気・水道・機械等のメーターの自動検針サービスを展開しており、販路拡大を目的に入会を希望している。推薦会社は大成株式会社である。

第 2 号議案 令和 6 年度 予算編成方針について

標記について提案説明があり、全会一致で承認された。

■提案説明

第 2 号議案の提案に先立ち、令和 5 年度上半期決算を報告する。

令和5年度 上半期決算

I 令和5年度上半期正味財産増減計算書

1 経常収益

会費収益は、予算額に対し50%の収入率だった。

事業収益は、①建築物の環境衛生の向上に関する事業は収入率50%、②犯罪の防止・治安の維持、災害の防止に関する事業は収入率43%、③建築設備機器の事故の防止に関する事業は収入率60%と概ね半年分の収益を確保した。④普及啓発・活用の事業は収入率49%、⑤収益等その他の事業は新年賀詞交歓会が下半期事業のため収入率45%である。

以上、経常収益計は、予算額2億9,770万円に対して上半期決算額が1億4,517万円、49%の収入率だった。

2 経常費用

(1) 事業費

①建築物の環境衛生の向上に関する事業費は、テキスト等作成を下半期に予定しているため、執行率39%。②犯罪の防止・治安の維持、災害の防止に関する事業費は、ほぼ予定どおり実施しており、執行率50%。③建築設備機器の事故の防止に関する事業費は、調査報告書の作成、大阪協会との情報交換会が下半期開催のため、執行率35%。④普及啓発・活用の事業費は、障がい者等自立支援単独事業への応募が少なかった、労働安全衛生大会、絵画カレンダーの作成が下半期などの理由で、執行率36%。⑤収益等その他の事業費は、労務関係テキスト作成が下半期、ビルメンテナンス会館の水道光熱費の実績減、エレベーター工事、新年賀詞交歓会は下半期事業などにより、執行率32%。

(2) 管理費

退職給付費は年度末に積み立てるため、上半期支出なし。総会開催費は懇親会開催費用の縮減のため執行率66%。管理費計の執行率は51%。

以上、経常費用計は予算額3億7,046万円に対して、執行額は1億5,482万円、執行率は42%となった。

II 令和5年度上半期貸借対照表

資産合計は11億516万円、負債合計は8,618万円、差し引き一般正味財産残高は10億1,898万円となった。

Ⅲ 令和５年度上半期正味財産増減計算書内訳表

評価損益等調整前当期経常増減額は、公１から公４ですべてマイナス、会費・入会金を加えた公益目的事業計も 2,653 万円のマイナスとなっており、上半期末時点では収支相償を確保した。

事業比率は公１から公４の小計は 60.1%であり、公益事業比率 50%以上を達成している。

遊休財産保有限度額については現時点では算出できないが、制限内を維持すると見込まれる。

【令和５年度 上半期監査報告】

１ 監査の方法

伝票、帳簿および証拠書類を精査し、計算書類の正確性を検討した。業務監査については、理事会およびその他の会議に出席し、理事の業務報告の聴取、関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手続きを行い、業務執行の妥当性を検討した。

２ 監査意見

決算報告書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況および財政状態を正しく示していると認める。理事の職務執行に関する不正の行為ならびに法令および定款に違反する事実はないと認める。

これらを踏まえて令和６年度予算編成方針を説明する。

前文では、物価高が継続していること、令和４年度に 60 周年事業やビルメンテナンスフェアなど大規模事業を実施し支出が多かったこと、そのため令和６年度は個々の事業について費用対効果を検証し、より一層のコスト縮減に努める必要があることなどを述べている。

総括的事項としては、全事業について見積もりの精査、過去の決算・執行状況の分析および費用対効果を十分に検証し、徹底的に支出抑制に努め、一部を除き、コロナ禍前の収支差額に収めることを基本目標とすること、講習会については原則として所管委員会内で収支均衡が取れるよう見直すこと、実技実習を伴う講習においては受講料の見直しにも踏み込むことなどを述べている。

具体的事項として、収益面では、会員ニーズの高い講習会についてニーズに的確に応えるよう定員増や開催回数増に努めてサービスを充実させること、その際専任講師を軸に新規講習会を積極的に検討すること、講習会受講料や新たな

テキスト、書籍等の価格については収支均衡を念頭に設定することを述べている。事業費については、講習会のカリキュラムや講師の配置等を見直すとともに、研修機材の更新等を進め教育効果の最大化を図ること、セミナーは会員が求めるテーマに取り組むことなど、会員、受講者のサービス向上に努めることを述べている。ビルメンテナンスフェアは、収支改善に取り組みながら来場者数増につながる広報・催事に努めることなどを述べている。

以上の方針に基づき、令和6年度の予算見積書を作成し、12月14日木曜日までに提出をお願いする。

第3号議案 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について

標記について提案説明があり、全会一致で承認された。

■提案説明

令和4年1月に電子帳簿保存法が改正され、電子取引をした場合は、電子データとしての保存が義務化された。一方、企業側の準備も考慮し、令和5年12月末までの2年間は猶予されている。

令和6年1月から義務化がスタートするが、データの保存等に当たっては真実性や可視性を確保する必要がある。検討の結果、簡便で最もコストのかからない「訂正削除の防止に関する事務処理規程の備付け」を選択した。制定に当たっては弁護士である江村理事に内容を点検いただいた。

第4号議案 委員会委員の追加選任について

標記について提案説明があり、全会一致で承認された。

■提案説明

労務管理委員会、建築物衛生管理委員会、警備防災委員会について11月1日付で委員の追加選任を行う必要がある。任期は令和7年6月末までである。

労務管理委員会労働条件小委員会の須藤彰氏と建築物衛生管理委員会教育研修小委員会の渡邊淳也氏は、それぞれ前任の委員を派遣いただいた株式会社セイビと ALSOK ファシリティーズ株式会社から、後任にふさわしい方々を推薦いただいた。警備防災委員会教育研修小委員会の小林恭子氏は、東京消防庁に38年間勤務、その間ビルの防災査察業務に13年間従事した。現在は東京防災救急協会で防火・防災管理者講習の講師を務めている。

第2 報告事項

1 全国協会報告

ビルメンヒューマンフェア&クリーン EXPO2023 の開催

会期は11月15日から17日の3日間。会場は東京ビッグサイト東展示棟である。出展は約160件、26のセミナー等のほか、16日には全国ビルクリーニング技能競技会が開催されるので、多くの方々のご来場をお待ちしている。

2 委員会報告

(1) 総務委員会

令和6年 新年賀詞交歓会開催のご案内

恒例の新年賀詞交歓会だが、今回は令和6年1月12日金曜日、浅草ビューホテルにて開催する。新型コロナも5類の扱いとなったため、立食形式で人数制限もない。たくさんのご参加をお願いします。

(2) 財務委員会

ア 令和5年度 上半期決算

※第2号議案の提案にあたり報告済み

イ ビルメンメンテナンス会館修繕工事の実施報告

1階会議室等内装、全館サッシ塗装、地下1階トイレ空調機設置工事を実施した。いずれも経年劣化等により計画されていた修繕である。

(3) 労務管理委員会

令和5年度 労働安全衛生大会の実施報告

同大会を10月13日、ビルメンメンテナンス会館2階で開催した。今年はコロナ禍以前の形式で実施、役員や多数の関係者にご出席いただき、成功裏に終了した。

当日は東京労働局の小林高士様の講演があり、今年度から始まった「第14次労働災害防止計画」の内容について、ビルメンメンテナンス業の労災発生状況を踏まえながら解説していただいた。

採択した大会宣言の下、委員会としても労働災害撲滅に向け、高齢者の転倒防止など、継続した会員支援や事業を企画実施していく。

(4) 厚生委員会

ア 第 64 回東京都交響楽団演奏会特別招待募集の案内

本事業は年 4 回実施しているが、今回はその 3 回目である。12 月 24 日に墨田区のすみだトリフォニーホールで行い、10 組 20 名様を現在募集中。

イ 映画「PERFECT DAYS」無料ご招待券の案内

この映画は、主役の役所広司氏が渋谷の公共トイレで清掃員として働く寡黙な男性を演じた社会性の強い映画であり、第 96 回米アカデミー賞国際長編映画賞部門の日本代表の作品である。25 組 50 名様をご招待する。

ウ 厚生事業実施報告

(ア) 第 21 回日帰りバス旅行

10 月 21 日に「山梨ブドウ狩りと桔梗信玄餅の詰め合わせ体験」として実施した。コロナ禍で中止していたが、4 年ぶりの開催となった。当日は天候にも恵まれ、絶好の旅行日和となり、参加者の皆さまからはとても楽しめたという声をいただいた。参加者は 33 名。

(イ) 第 208 回ゴルフ大会

10 月 25 日に龍ヶ崎カントリー倶楽部で実施した。こちらも天候に恵まれ、絶好のゴルフ日和であった。今大会から表彰式はパーティーを伴う形で、コロナ禍前と同様の運営。優勝者は三田エンジニアリング株式会社の千野龍洋様、参加者は 35 名。

(5) 経営研究委員会

改正電子帳簿保存法セミナー実施報告

令和 6 年 1 月から義務化される改正電帳法に関するセミナーを 10 月 25 日に実施した。講師は税理士の白井一馬氏で、会場・Zoom 合わせて 56 名が受講。本セミナーはアーカイブ配信も予定している。アンケートでは 8 割以上の受講者から「満足した」との回答をいただいた。

(6) 広報委員会

第 17 回ビルメンテナンスこども絵画コンクール東京地区応募作品の審査結果報告

全国協会主催のこども絵画コンクールについては、全国協会とは別に東京地区からの応募作品について当協会独自の審査と表彰を行っている。

今年は東京地区から 615 作品の応募があった。第 1 次審査では小学校の図画工作教諭 4 名が審査、最終審査は広報委員会で実施した。

受賞者には後日表彰状と副賞を贈る。なお、受賞作品は例年同様令和 6 年カレンダーのデザインとして採用し、11 月下旬に会員各社や応募者、都内公立小学校などに送る。

(7) 建築物衛生管理委員会

インスリン注射針の不法投棄防止に向けた外国語版掲示物の作成

過年度にインスリン注射針の不法投棄および清掃現場での針刺し事故防止を目的として、施設トイレの内扉などに張っていただける掲示物を作成した。今年度は、今後の訪日外国人の増加を見込み、日本語に加え、英語、中国語、韓国語を掲載した掲示物を作成した。会員企業には既に送付、協会ホームページにデータを掲載しているので、追加で印刷いただくことができる。

(8) 建築物施設保全委員会

ア 総合訓練施設「ANA Blue Base」見学会の実施

11 月 17 日午後、総合訓練施設「ANA Blue Base」見学会を実施する。施設は 3 万平米以上、世界最新鋭、日本最大の訓練施設である。ここは訓練施設の設備そのものを見るだけでなく、メンテナンスの省エネの工夫などもしている。そういう点でも参考になるので、ぜひ参加を検討してほしい。

イ 初心者のための設備管理入門講習の開催

来年 1 月 31 日、設備管理入門講習を開催、当協会専任講師の松原氏が講師を務める。ビルメンテナンス会社の新入社員や設備管理業務初心者向けの総合的な基礎知識を一日で学ぶことができるので、ぜひ検討してほしい。

ウ 「今だからこそ！チームビルディング」セミナー実施報告

標記セミナーを 9 月 15 日に実施したところ、定員 50 名が満席になった。講師の森氏は ANA の CA 出身の方である。「コミュニケーションスキルの基本が学べた」「同業他社の皆さんとの連携が取れた」などの感想が寄せられ、非常に好評だった。来年度も実施を考えたい。

エ 設備管理・保全講習会の講師派遣のご案内

専任講師の松原氏が出張授業または出張研修に出掛ける講師派遣事

業を始めた。10人、20人まとめて自分の会社で授業を受けたいというときにご応募いただきたい。

オ 大阪ビルメンテナンス協会との意見交換会

11月27日、大阪ビルメンテナンス協会の設備保全のチームと年に1回の意見交換会を大阪で実施する。当方からは木村副会長以下11名で参加。テーマは「スマートビル」、これは大阪からのリクエストで、当方からは竹中工務店の事例を主に発表しながら意見交換する。

(9) 障がい者等自立支援委員会

「障がいのある従業員への分かりやすい伝え方実践セミナー」実施報告

法改正に伴い障害者雇用が促進される一方、多くの企業が採用後の適切な指導方法やコミュニケーションの取り方に悩んでいる。このような状況を受け、9月4日に独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、中央障害者雇用情報センターの宮崎哲治氏、忠津佳明氏を講師として、同セミナーを開催した。参加者は24名。受講者からは「指導方法のヒントが見えてきた」「協会と機構が連携した企画やセミナーは本当にありがたい」等の感想をいただいた。

(10) ビルメンテナンスフェア実行委員会

ビルメンテナンスフェア TOKYO2024 進捗報告

現在、実行委員会を立ち上げ、次回の開催に向けて準備を進めている。来年の7月18日と19日の2日間を会期とし、前回同様東京都立産業貿易センター浜松町館にて開催する。

今回より委託業者を提案形式によって決定することとし、先日各社よりプレゼンを受けて決定した。今後は委託業者と委員会で連携を図りながら、さまざまな事項を検討し、フェアが盛会に終わるよう、準備を進めていく。

(11) 全国協会東京地区代議員選挙管理委員会

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会の代議員変更

島田四郎氏が9月1日付で理事を退任したことを受け、関係規程に基づき、補欠順位第1位の木村健司副会長が新たに代議員となった。9月21日、その旨を竹田良平委員長名で全国協会会長宛てに届け出した。

3 代表理事・業務執行理事の活動報告

令和5年4月から令和5年9月までの活動報告（法人一般法 91 条および定款に基づく報告）

代表理事佐々木会長は、三役会を主宰して理事会運営の確認・指導を行ったほか、優良従業員表彰式に出席、ごあいさついただいた。また、他団体行事に出席し、交流を図った。3人の副会長は、三役会、優良従業員表彰式に出席したほか、担当する委員会で助言をいただくとともに、関係の各種行事等に出席、さらに梶山副会長には東京都財務局との意見交換会に出席いただいた。一戸名誉会長は、三役会等で助言をいただいた。専務理事の高橋は、三役会、関係委員会等に出席したほか、事務局業務の総括的運営を行った。

4 事務局報告

（1）主な出来事

9月5日：三役会、第131回理事会

13日：地区本部事務局長会議

16日～：会館工事

10月3日：三役会

12日：地区本部事務局長会議

13日：労働安全衛生大会

27日～11月1日：海外研修視察

30日：上半期監査、会館防災訓練

（2）今後の予定

11月15日～17日：ビルメンヒューマンフェア&クリーン EXPO

（於：東京ビッグサイト）

12月5日：三役会、地区本部会議

令和6年

1月12日：三役会、第133回理事会、新年賀詞交歓会

（於：浅草ビューホテル）

2月6日：三役会

3月5日：三役会、第134回理事会

（3）会員数の推移

正会員 511 社、賛助会員 70 社（11月1日現在）

5 その他

(1) 令和5年度 認定職業訓練功労者に対する感謝状

このたび東京都から、当協会の講師2名に対して感謝状が授与される。

建築物施設保全委員会所属の JR 東日本ビルテック株式会社、中田成二様に東京都知事感謝状、建築物衛生管理委員会所属の ALSOK ファシリティーズ株式会社、鏡池薫様に東京都産業労働局長感謝状が贈られる。

中田氏は13年間にわたり講師を担当され、幅広い知識と経験を生かして、主に電気関係の講習会の講師を務めていただいている。鏡池氏は、実務経験を基に培った専門知識と技術を生かして、清掃資機材の使用方法等の実技指導を担当し、後進の育成にも尽力いただいている。

表彰状の贈呈式は11月14日、新宿の京王プラザホテルで実施される。

お二方には後日、当協会からも各委員会を通じてお祝いを贈呈する。

(2) 令和5年度 会員名簿の発行

令和5年度会員名簿が発行された。

(了)